



OncoGuide™ NCC オンコパネル システム

サマリーレポート原案

検査会社受付ID: SampleReport

Expert Panel予定日:

■ サンプル情報

サンプル	検体識別番号: SampleReport(sample_tumor, sample_normal)
がん種	Other (OTHER)_その他

■ コンパニオン診断項目

本検査においてコンパニオン診断項目である遺伝子変異は検出されませんでした。

本コンパニオン診断項目は、コンパニオン診断対象である遺伝子変異が適用がん種で検出された場合に、医薬品の適応判定の補助としてご使用いただけます。ご使用の際には、本品の最新の添付文書及び、医薬品の最新の添付文書をご確認ください。

■ 遺伝子変異情報

遺伝子名	変異アレル頻度[%]	変異種類	CDS変化	公共データベース情報	
				アミノ酸変化	COSMIC(登録数)
EGFR	27.0(585/2,170)	nonsynonymous SNV	exon21:c.2573T>G	L858R	COSV51765161(2,711)
BRCA1	35.5(725/2,040)	stopgain SNV	exon12:c.4327C>T	R1443*	COSV58787462(6)

■ 遺伝子コピー数異常情報

遺伝子名	変異種類	遺伝子コピー数比
ERBB2	amplification	12.29

■ 遺伝子再構成情報

遺伝子名	変異種類	切断領域
ETV6 NTRK3	rearrangement	intron5 intron14
CTNNB1	long deletion	intron2 exon3

■ マイクロサテライト不安定性(MSI)

ステータス	MSS
-------	-----

■ 体細胞変異数

領域区分		SNV		InDel		合計	
		変異出現数	変異出現率※	変異出現数	変異出現率※	変異出現数	変異出現率※
コーディング領域	nonsyn	1	2.8 /Mb	1	2.8 /Mb	2	5.6 /Mb
	syn	0	0.0 /Mb				
非コーディング領域		0	0.0 /Mb	0	0.0 /Mb	0	0.0 /Mb
領域全体		1	0.8 /Mb	1	0.8 /Mb	2	1.6 /Mb

※ 変異出現率=1Mbpあたりの変異数

解析レポート:

•EGFR:L858R: 既知の活性化変異である。

- ERBB2:amplification: 増幅あり。
- ETV6|NTRK3: 遺伝子の再構成が認められる。
- CTNNB1: long deletion: 遺伝子が再構成していると考えられる。
- BRCA1:R1443*: 短縮型変異のため機能欠失変異と考えられる。

報告書原案作成日:2026/9/2

確認サイン:

■使用データベースバージョン

EPDB	20250828_V6.6
refGene	20220312_exc
ensGene	20250213_exc
1000人ゲノム	Phase_3(20130502)
ESP6500	V2-SSA137
ExAC*	r0.3.1(20160316)
HGVD	v2.10(20170202)
COSMIC	v100(20240521)
ClinVar	20241021
Known	20250711
Except	v2.02(20220120)
Exceptgermline	v3.04(20250416)
Exceptcna	v2.01(20210204)
Exceptsv	v2.00(20191220)

* ExACに関しては、東アジアのポピュレーションにおけるデータベースを参照しています。

■注意事項

下記のとおり、本品の特性を十分に理解した上で使用してください。

- ・一塩基変異および挿入・欠失の検出について、124遺伝子のエキソン領域およびスプライシング領域を対象としています。それ以外の領域は、既知変異データベースに登録されている一部の変異を除き、検出およびレポートされません。
- ・本品の測定原理であるショートリードシーケンスと解析アルゴリズムの特性から、比較的大きな挿入欠失変異※については検出が難しい可能性がございます。なお、EPDB及び既知変異データベースに登録されている変異の検出や、遺伝子再構成として検出されるLong Deletionは、上記の特性に影響されない検出方法を用いております。※挿入欠失変異としての理論上の検出可能限界は、挿入変異は47塩基まで、欠失変異は70塩基までですが、実際は検体の品質や遺伝子座によっても変わります。
- ・本品はDNAシーケンスの解析に基づき遺伝子再構成を判定するため、FISH法や免疫染色と比較して偽陰性の結果を生じる可能性があります。
- ・HER2以外の遺伝子のコピー数異常の検出については、他のバリデートされた検査法との同等性は評価されておりません。
- ・本品で得られた結果は特定の医薬品に対する適応判定を目的とするものではありません。
- ・本品により出力された体細胞変異数欄の変異出現率(SNV、InDelごとの変異出現率、およびそれらを合わせた合計変異出現率)は、算出に用いる領域における検出された遺伝子変異(SNV、InDel)の個数を、100万塩基あたり(／Mb)で表記しています。本品による変異出現率に基づいたTMB判定の手法は、臨床的には確立されておりません。なお、体細胞変異数欄の算出は全ての領域を対象としておらず、そのため体細胞変異数欄に掲載される変異出現数とレポートされる変異数が一致しない場合があります。
- ・本品によるMSI-HIGH/MSS判定は、広く使用されているベセスダパネル(5又は7のMSI遺伝子座)に基づくものではありません。MSIスコアが30.0以上の場合にMSI-HIGH、30.0未満の場合にMSSとしています。MSI-HIGH/MSSの閾値は、FFPE組織を用いた対照アッセイ(PCR法)との分析的同等性試験により決定されており、本品によるMSI判定の手法は、臨床的にはまだ確立されておりません。
- ・COSMICやClinVarなどの公共データベースの情報は定期的に更新されているため、サマリーレポート及びシーケンシングレポート内の公共データベースのアノテーション情報と乖離する可能性がございます。つきましては、公共データベースのアノテーション情報を参照する際には、直接Webサイト上で最新情報をご確認いただきますようお願いいたします。
- ・本サマリーレポートは、検出された変異の中からサマリーレポート出力条件に従い出力しています。シーケンシングレポートに記載されている遺伝子変異情報も併せてご確認ください。
- ・別途参考情報として国内ガイドラインに記載されている耐性獲得変異につきましては、以下リンク先「耐性獲得変異リスト」(https://products.sysmex.co.jp/products/genetic/AK401170/resistant_list.pdf)に追加情報を記載しております。併せてC-CAT調査結果に記載の情報もご参照ください。

■免責事項

本検査に基づく解析レポートに関して、医療機関が自己の責任で適応性、妥当性、適時性などを判断の上、活用するものとする。

シスメックス株式会社

シスメックス株式会社 OncoGuide™ NCCオンコパネル システム 専用窓口:0120-035-802

受付時間:月曜日～金曜日 9:30～17:00(祝日・お盆・年末年始・その他休日は除く)



OncoGuide™ NCC オンコパネル システム

サマリーレポート原案（生殖細胞系列バリエーション情報）

検査会社受付ID: SampleReport

Expert Panel予定日:

本検査は固形がん患者を対象とした腫瘍組織の包括的なゲノムプロファイリング検査であり、遺伝性の疾患の診断を目的とするものではありません。本検査で検出された生殖細胞系列バリエーション情報に関する患者への結果開示の判断は、施設のエキスパートパネルと、施設の明文化された規定に基づき行ってください。

■サンプル情報

サンプル	検体識別番号: SampleReport(sample_tumor, sample_normal)
がん種	Other (OTHER)_その他

■生殖細胞系列バリエーション情報

遺伝子名	開示 推奨度	腫瘍 アレル頻度[%]	非腫瘍 アレル頻度[%]	変異種類	CDS変化	アミノ酸変化	公共データベース情報		
							ClinVar Var ID	Significance	SNP データベース[%]
BRCA1	AAA	35.5 (725/2,040)	16.0 (194/1,215)	stopgain SNV	exon12:c. 4327C>T	R1443*	17675	Pathogenic	1000g[-] ExAC[0.00] ESP[-] HGVD[-]

解析レポート:

・BRCA1:R1443*: 短縮型変異のため機能欠失変異と考えられる。

報告書原案作成日: 2026/9/2

確認サイン:

■使用データベースバージョン

EPDB	20250828_V6.6
refGene	20220312_exc
ensGene	20250213_exc
1000人ゲノム	Phase_3(20130502)
ESP6500	V2-SSA137
ExAC*	r0.3.1(20160316)
HGVD	v2.10(20170202)
COSMIC	v100(20240521)
ClinVar	20241021
Known	20250711
Except	v2.02(20220120)
Exceptgermline	v3.04(20250416)
Exceptcna	v2.01(20210204)
Exceptsv	v2.00(20191220)

* ExACに関しては、東アジアのポピュレーションにおけるデータベースを参照しています。

■注意事項

下記のとおり、本品の特性を十分に理解した上で使用してください。

・NCCオンコパネル サマリーレポート(生殖細胞系列バリエーション情報)に掲載されているClinVar Significanceは、ClinVarデータベースのエビデンス情報(SCV)のうち、がんに関わる疾患に絞ってSignificanceを作成しています。本Significanceの作成方法は、2024年10月

時点におけるClinVar webサイトの“Representation of classifications in ClinVar”に記載の方法に従っています。(URL:<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/clinvar/docs/clinsig/>)

- 生殖細胞系列で複合的な塩基変化を含むバリエントが検出された場合、解析プログラムの性能上、正確な腫瘍アレル頻度の算出が難しい場合があります。
 - 本レポートでは、サマリーレポート内で報告しているバリエントのうち、生殖細胞系列バリエントのみが掲載されています。シーケンシングレポートに掲載されている生殖細胞系列遺伝子バリエント情報も併せてご確認ください。
 - 別途参考情報として国内ガイドラインに記載されている耐性獲得変異につきましては、以下リンク先「耐性獲得変異リスト」(https://products.sysmex.co.jp/products/genetic/AK401170/resistant_list.pdf)に追加情報を記載しております。併せてC-CAT調査結果に記載の情報もご参照ください。
-

■免責事項

本検査に基づく解析レポートに関して、医療機関が自己の責任で適応性、妥当性、適時性などを判断の上、活用するものとする。

シスメックス株式会社

シスメックス株式会社 OncoGuide™ NCCオンコパネル システム 専用窓口:0120-035-802

受付時間:月曜日～金曜日 9:30～17:00(祝日・お盆・年末年始・その他休日は除く)